

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第14週（4月3日～4月9日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第13週の6.77から第14週は3.52と減少しています。高知県全域と全保健所管内で注意報値である10.00は切りましたが、まだ流行は続いているので引き続き注意が必要です。

迅速検査ではインフルエンザA型が65.7%、B型34.3%とB型の割合が増加しています。

全国では定点医療機関当たりの報告数は第12週の7.71から第13週は6.78と減少しています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第10～14週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く65.8%、次いでB（ビクトリア系統）が20.2%、B（山形系統）7.7%、AH1pdm09が4.8%の順でした。

県内におけるインフルエンザの報告数はピーク時（第5週：50.60件/定点）の約1/14に減少しましたが、流行は続いていますので、外出後の手洗い等の感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

### インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生する水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 咳・くしゃみが出たらマスクをしましょう。
- (2) 鼻汁・痰などを含んだティッシュはフタつきのゴミ箱に捨てましょう。
- (3) 咳・くしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗いましょう。
- (4) 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
- (5) マスクの装着は説明書を読んで、正しく着用しましょう。

- 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第13週の3.60から第14週では2.67と減少していますが、県全域から報告があり、須崎で急増していますので引き続き注意が必要です。

定点医療機関からのホット情報ではロタウイルス14例の報告があり、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が4例報告されるなど、ロタウイルスの報告が増加しています。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、3月から5月頃にかけて乳幼児を中心に流行するロタウイルスによる胃腸炎で、感染力が強く、免疫のない小児では生後6か月～2歳くらいまでの間に必ずと言っていいほど発症すると言われています。水のような多量の下痢便が特徴で、便の色も白っぽくなることから、白色便性下痢とも言われます。激しい嘔吐を伴うこともあるため嘔吐下痢症、小児仮性コレラ、白痢などとも呼ばれています。合併症としては、脱水症があり、脱水の程度や臨床的重症度は他のウイルス性胃腸炎より重いことが多く、主に4～23か月児に重度の脱水症がみられることがあります。

ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

調理をする場合には、中心部まで十分に加熱しましょう。

- 厚生労働省 感染性胃腸炎（特にロタウイルス）について

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/top.html>

- 厚生労働省「ロタウイルスに関する Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/>

## ○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第 13 週の 2.07 から第 14 週では 1.67 と減少していますが、中央東、安芸で急増しています。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

### ☆山や草むらでの野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

春から秋にかけて山菜採り、キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。この時期、野山に生息するダニなどに刺されることで感染症を起こすことがあります。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。（予防するためのワクチン等はありません。）

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2 週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

## ○人畜共通感染症「オウム病」に気を付けて！

4 月 9 日までに全数把握対象疾患 4 類であるオウム病に感染された妊婦が死亡していたことがわかりました。

オウム病は、インコ、オウム、ハト等の糞に含まれるオウム病クラミジアという菌を吸い込んだり、口移しでエサを与えることによって感染します。1～2 週間の潜伏期の後に、突然の発熱で発病します。初期症状として悪寒を伴う高熱、頭痛、全身倦怠感、食欲不振、筋肉痛、関節痛などがみられ、軽い場合はかぜ程度の症状ですが、高齢者などでは重症になりやすく、重症になると呼吸困難、意識障害、DIC などがみられ、診断が遅れると死亡する場合があります。発症前にトリとの接触があったかどうかは診断のための参考になります。

< 予防対策 >

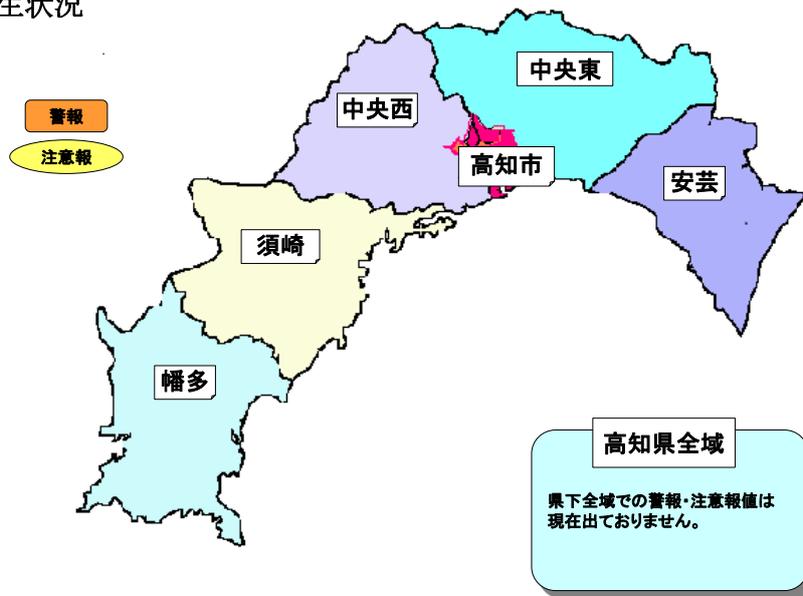
- 鳥との接触を避け、むやみに触らない。
- 鳥を飼うときは、ケージ内の羽や糞をこまめに掃除する。
- 鳥の世話をした後は、手洗い、うがいをする。
- 健康な鳥でも保菌している場合があり、体調を崩すと糞便や唾液中に菌を排出し感染源となる場合があるので、鳥の健康管理に注意する。
- 口移しでエサを与えないなど、節度ある接し方をする。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減  
 14週（4月3日～4月9日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	3.52	県全域、幡多、高知市で急減、中央西、中央東で減少しています。
感染性胃腸炎	↘	2.67	県全域、中央東、幡多、安芸、中央西で減少していますが、須崎では急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	1.67	県全域で減少し、幡多、須崎では急減、高知市で減少していますが、中央東、安芸では急増しています。
水痘	→	0.47	安芸、中央西で急増、中央東で急減しています。
RSウイルス感染症	→	0.23	高知市で急増しています。

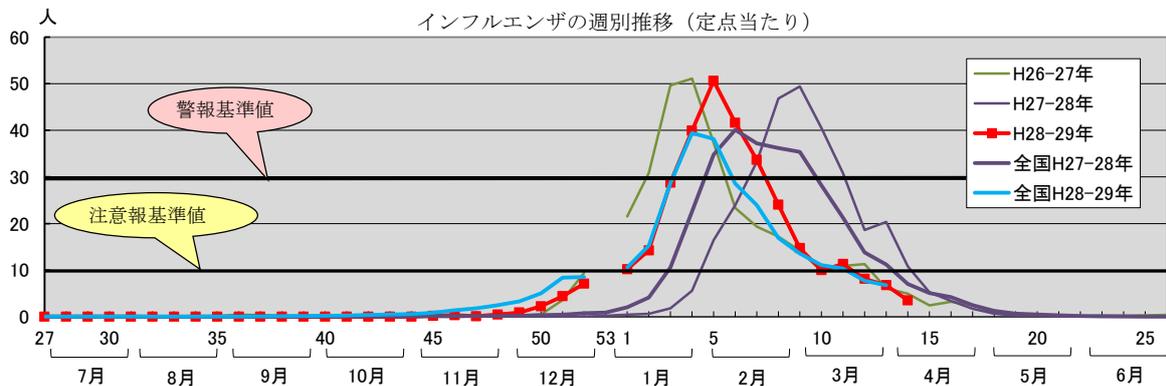
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

○インフルエンザ 第14週：3.52（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.52(前週:6.77)と減少しています。幡多 4.50(前週:10.50) 高知市 4.00(前週:8.81) で急減しています。



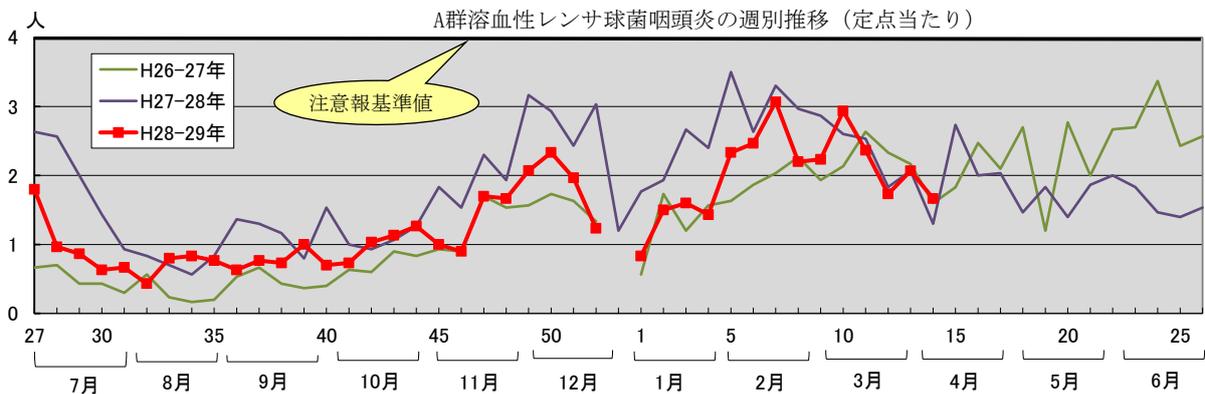
**○感染性胃腸炎 第14週：2.67 (注意報値：12.00 警報値：20.00)**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.67(前週：3.60)と減少しています。須崎 2.50(前週：1.00)で急増、中央東 3.29(前週：6.29) 幡多 2.20(前週：3.60) 安芸 2.00(前週：3.50) 中央西 0.67(前週：1.00)で減少しています。



**○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第14週：1.67 (注意報値：4.00 警報値：8.00)**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.67(前週：2.07)と減少しています。幡多 2.20(前週：4.00) 須崎 1.00(前週：5.50)で急減、高知市 2.00(前週：2.45)で減少、中央東 1.57(前週：0.14) 安芸 1.00(前週：0.50)では急増しています。



※グラフの途切れについて  
 H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。  
 そのため、H26-H27年とH28-H29のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

**★全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	24	90歳代女	安芸
		1		90歳代女	中央西
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	90歳代女	高知市
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	9	80歳代女	
		1		70歳代女	
	播種性クリプトコックス症	1	2	90歳代男	

## ★病原体検出情報

衛生研究所が設置されている高知県保健衛生総合庁舎は改築工事を実施しており、本年3月末に第1期工事が完了し、3月中旬から4月末の計画で新庁舎への検査機器等の移設作業を行っています。この移設作業実施期間中は病原体の検査ができなくなるため、検体の受入（小児科定点、眼科定点、基幹定点）を一時中止させて頂いておりましたが、下記の通り検体受付を再開させて頂きます。

検体採取開始日：4月17日（月）（第16週）から

検体受け入れ再開日：4月24日（月）（第17週）から

但しインフルエンザ定点におかれましては、検体受け入れ一時中止の期間中（3月16日（木）～4月16日（日））に採取し、貴施設に保管していただいていた検体についてもあわせて搬送をお願いします。

## ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	ロタウイルス感染性胃腸炎 9 例（本山町） （2 歳男、3 歳男、4 歳男、5 歳男、5 歳女 2 人、6 歳女、7 歳女 2 人） マイコプラズマ肺炎 2 例（6 歳女） インフルエンザ A 型 2 例（1 歳男、4 歳男） インフルエンザ B 型 1 例（5 歳女）
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 1 例（7 歳女） インフルエンザ B 型 1 例（13 歳女） インフルエンザは 2 例ともワクチン未接種
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 1 例（8 歳男） ロタウイルス腸炎 1 例（6 歳女） カンピロバクター腸炎 2 例（8 歳女、17 歳男） 病原性大腸菌 O-15 腸炎 1 例（6 歳女） 病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例（5 歳女） アデノウイルス扁桃炎 2 例（1 歳女、2 歳女）
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 1 例（1 歳男） インフルエンザ 1 例（16 歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 2 例、B 型 2 例（ワクチン接種済み 2 例） 溶連菌感染症 5 例
	三愛病院小児科	アデノウイルス胃腸炎 1 例（1 歳男） hMPV 2 例（7 ヶ月男、5 歳男） マイコプラズマ気管支炎 1 例（8 歳男）
	国立病院機構高知病院小児科	感染性胃腸炎（ロタウイルス） 1 例（10 ヶ月男）
	細木病院小児科	ロタウイルス 2 例（1 歳男、1 歳女） ノロウイルス 1 例（2 歳女）
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 1 例（14 歳女：越知） インフルエンザ B 型 1 例（2 歳男：仁淀川町）
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃腺炎 1 例（1 歳男）
	石黒小児科	水痘 1 例（2 歳女：ワクチン 2 回済み）
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1 例（3 歳男） アデノウイルス扁桃炎 1 例（3 歳男）
幡多	さたけ小児科	hMPV 4 例（3 歳男、4 ヶ月女、4 歳女、5 歳女） ロタウイルス 1 例（1 歳女） インフルエンザ A 型 12 例、B 型 1 例
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 4 例（2 歳男、3 歳男、1 歳女、4 歳女）

★全国情報

第12号(3月20日～3月26日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核273例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症15例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎3例、エキノコックス症1例、デング熱6例、レジオネラ症58例

5類感染症：アメーバ赤痢5例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例

急性脳炎7例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例

後天性免疫不全症候群10例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例

侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症65例、水痘(入院例に限る)2例

梅毒52例、播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、風しん2例、麻しん5例

報告遅れ：E型肝炎2例、エキノコックス症1例、デング熱1例、レジオネラ症7例

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、急性脳炎6例、

劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、水痘(入院例に限る)4例、梅毒35例、

播種性クリプトコックス症2例、風しん1例、麻しん2例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第14週 平成29年4月3日(月)～平成29年4月9日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	高知県					計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計) H29/1/2～H29/4/9	全国(13週末累計) H29/1/2～H29/4/2	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎						幡多
インフルエンザ	インフルエンザ		8	32	64	20	9	36	169 ( 3.52)	325 ( 6.77)	33,608 ( 6.78)	14,281 ( 297.52)	1,245,680 ( 251.25)
小児科	咽頭結膜熱			1	1				2 ( 0.07)	5 ( 0.17)	984 ( 0.31)	71 ( 2.37)	13,932 ( 4.40)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	11	22	2	2	11	50 ( 1.67)	62 ( 2.07)	6,269 ( 1.98)	853 ( 28.43)	88,056 ( 27.84)
	感染性胃腸炎		4	23	35	2	5	11	80 ( 2.67)	108 ( 3.60)	17,034 ( 5.38)	2,306 ( 76.87)	234,027 ( 73.99)
	水痘		2	3	7	2			14 ( 0.47)	14 ( 0.47)	1,122 ( 0.35)	156 ( 5.20)	14,797 ( 4.68)
	手足口病								( )	1 ( 0.03)	396 ( 0.13)	16 ( 0.53)	5,814 ( 1.84)
	伝染性紅斑			2	1			1	4 ( 0.13)	3 ( 0.10)	225 ( 0.07)	55 ( 1.83)	3,280 ( 1.04)
	突発性発疹		1	2	1			2	6 ( 0.20)	11 ( 0.37)	1,262 ( 0.40)	119 ( 3.97)	15,412 ( 4.87)
	百日咳								( )	1 ( 0.03)	21 ( 0.01)	13 ( 0.43)	291 ( 0.09)
	ヘルパンギーナ								( )	( )	79 ( 0.02)	2 ( 0.07)	936 ( 0.30)
	流行性耳下腺炎				2			3	1	6 ( 0.20)	7 ( 0.23)	1,821 ( 0.58)	96 ( 3.20)
眼科	RSウイルス感染症		1		4			2	7 ( 0.23)	6 ( 0.20)	648 ( 0.20)	185 ( 6.17)	11,641 ( 3.68)
	急性出血性結膜炎								( )	( )	2 ( )	( )	89 ( 0.13)
基幹	流行性角結膜炎								( )	( )	367 ( 0.53)	6 ( 2.00)	4,403 ( 6.35)
	細菌性髄膜炎								( )	( )	11 ( 0.02)	1 ( 0.13)	122 ( 0.26)
	無菌性髄膜炎								( )	( )	12 ( 0.03)	3 ( 0.38)	192 ( 0.40)
	マイコプラズマ肺炎							1	1 ( 0.13)	1 ( 0.13)	123 ( 0.26)	43 ( 5.38)	2,745 ( 5.75)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								( )	( )	2 ( )	5 ( 0.63)	72 ( 0.15)
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)				3			1	4 ( 0.50)	( )	293 ( 0.61)	13 ( 1.63)	1,623 ( 3.40)	
計 (小児科定点当たり人数)		18 ( 7.00)	74 ( 8.92)	140 ( 10.63)	26 ( 6.01)	19 ( 7.25)	66 ( 10.10)	343 ( 9.16)			64,279	18,224 ( 426.59)	1,669,512
前週 (小児科定点当たり人数)		20 ( 7.75)	112 ( 13.15)	225 ( 16.35)	32 ( 7.20)	28 ( 11.50)	127 ( 19.10)		544 ( 14.04)				

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり

第14週

定点名	疾病名	保健所	高知県					計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計) H29/1/2～H29/4/9	全国(13週末累計) H29/1/2～H29/4/2	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎						幡多
インフルエンザ	インフルエンザ		2.00	2.91	4.00	4.00	2.25	4.50	3.52	6.77	6.78	297.52	251.25
小児科	咽頭結膜熱			0.14	0.09				0.07	0.17	0.31	2.37	4.40
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	1.57	2.00	0.67	1.00	2.20	1.67	2.07	1.98	28.43	27.84
	感染性胃腸炎		2.00	3.29	3.18	0.67	2.50	2.20	2.67	3.60	5.38	76.87	73.99
	水痘		1.00	0.43	0.64	0.67			0.47	0.47	0.35	5.20	4.68
	手足口病									0.03	0.13	0.53	1.84
	伝染性紅斑			0.29	0.09			0.20	0.13	0.10	0.07	1.83	1.04
	突発性発疹		0.50	0.29	0.09			0.40	0.20	0.37	0.40	3.97	4.87
	百日咳									0.03	0.01	0.43	0.09
	ヘルパンギーナ										0.02	0.07	0.30
	流行性耳下腺炎				0.18		1.50	0.20	0.20	0.23	0.58	3.20	8.35
眼科	RSウイルス感染症		0.50		0.36			0.40	0.23	0.20	0.20	6.17	3.68
	急性出血性結膜炎												0.13
基幹	流行性角結膜炎									0.53	2.00	6.35	
	細菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.26	
	無菌性髄膜炎									0.03	0.38	0.40	
	マイコプラズマ肺炎							1.00	0.13	0.13	0.26	5.38	5.75
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.63	0.15	
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)				0.60			1.00	0.50		0.61	1.63	3.40	
計 (小児科定点当たり人数)		7.00	8.92	10.63	6.01	7.25	10.10	9.16			426.59		
前週 (小児科定点当たり人数)		7.75	13.15	16.35	7.20	11.50	19.10		14.04				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869